

[報告]

サイバーサイエンスセンターオープンキャンパス報告

小松 一彦

スーパーコンピューティング研究部

東北大学では、平成27年7月29日と30日の2日間に渡り、オープンキャンパスを開催しました。大学や大学院への進学を考えている学生や、東北大学での研究や活動に興味・関心を持っている一般の方々に向けて、年に1回開催されています。サイバーサイエンスセンターでは、大規模科学技術計算を支える最新型スーパーコンピュータ、計算結果を分かりやすく可視化する3次元可視化システム、東北の大学ネットワークを支えるネットワーク機器、大規模計算機の歴史的資料を展示しているコンピュータ博物館を一般に公開しました。また、ネットワーク研究部、スーパーコンピューティング研究部、先端情報技術研究部の研究成果を展示しました。

当センターのスーパーコンピュータを活用したリアルタイム津波浸水被害予測など、スーパーコンピュータの関心も高く、今年度も1000人以上の方々にご来場いただきました。コンピュータ博物館では、歴史的価値の高いスーパーコンピュータやネットワーク機器、資料などを見学して、スーパーコンピュータの歴史を巡りました。また、今年、新計算機棟(サイバーサイエンスセンター2号館)に導入された最新型スーパーコンピュータSX-ACEや関連設備を見学し、スーパーコンピュータの大きさ、コンピュータを冷却するための冷風やその音を肌で感じていただきました。また、3次元可視化システムを用いて、スーパーコンピュータでの計算結果を体験していただきました。これらを通じて、スーパーコンピュータが研究だけでなく、実生活にどのように役立っているのかを身近に分かっていただけたと思います。研究開発部の展示では、情報セキュリティ・スーパーコンピュータに関する研究活動だけでなく、大学生活や大学での講義などについても、職員や学生と交流していました。来年度のオープンキャンパスも一般に公開する予定です。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

